

2023年度シティカレッジ シラバス

シティカレッジ開講科目

提供機関:

金沢医科大学

開講時期:

後期

合同開講他機関名:

科 目 名	科学技術倫理									
英 文 科 目 名	Ethics of Technology									
授 業 形 態	対面授業、オンライン授業、 オンライン・対面併用				対面授業		開講期間	9月27日～1月17日		
	復習用ビデオの録画・配信				○					
担 当 教 員	本田康二郎				開講時間		水曜日 第1講時13:30～15:00			
受 講 定 員 等	単位数		2		単位		開講場所	しいのき迎賓館3階 セミナールームA		
	定員数		20		名					
	特別聴講学生等定員		10		名		成績評価 の方法	学期末レポート(50%)と受講態度(50%)		
	科目等履修生定員				名					
	シティカレッジ聴講生定員		10		名					
	定員超過時の選考方法等		抽選							
授 業 料 等	特 別 聴 講 学 生 (大学等に在籍する学生)				科 目 等 履 修 生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)	
	検定料	入学料	授業料	別途負担 費用	募集期間: 月 日 - 月 日				受 講 料	
					検定料	入学料	授業料	別途負担 費用		
				円	円	円	円	円	円	¥10,000
科 目 の 内 容	先進諸国の人間の生活は、もはや科学技術と切り分けて考えることが出来なくなった。それほど、我々の日常生活には科学技術の成果が溢れ、我々はそれへの依存度をますます高めている。 衣食住、移動、コミュニケーションのどの場面にも科学技術が介在しているにもかかわらず、我々は科学技術の中身を考えず、それをブラックボックスのまま使っている。科学技術の発展の方向性は、一部の科学者や技術者、それに官僚たちに決められ、我々はきわめて受動的な立場にいる。 はたして、このままでよいのであろうか。この講義では、科学技術という営みが歴史上どのように表れ、そして現在どのように運営されているのかを検討する。その上で、原子力、環境問題、バイオテクノロジーなどのリスクを考察し、民主制度の中で市民が科学の未来にどうやって関わっていけばよいのかを議論してみたい。講義の後半では、近未来に実現しそうな科学技術(ロボット、人工知能、人体改造技術など)についても触れてみたい。								その他特記事項	
授 業 担 当 教 員 紹 介				URL		https://researchmap.jp/kojiro-honda/				
ホ ー ム ペ ー ジ ・ メ ー ル ア ド レ ス 等				E-mail		kh-honda@kanazawa-med.ac.jp				